

令和3年春季展

江戸時代、花見や園芸が流行し、桜の文化が花ひらきました。掛軸・錦絵・和本などから、笹部新太郎氏が理想としていた江戸時代の桜をご紹介します。

笹部さくらコレクション

江戸にはな桜女ひらく

Sasabe Sakura Collection

The Flourishing of Cherry Blossom Trees in the Edo Period

Exhibit captions are also available in English.

令和3年 3/20(土) - 6/6(日)

入館料 一般500円 中・小生250円 (団体割引 20人以上2割引)
記念館・酒蔵館共通券
65歳以上の西宮市民は証明書呈示で半額、コロナカード呈示者は無料

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 火曜日[4月19日(月)は展示替えのため記念館展示室はご観覧いただけません]
[5月4日(火)は臨時開館いたします。5月6日(木)は閉館となります]

お問い合わせ 酒ミュージアム(白鹿記念酒造博物館) 電話:0798-33-0008

市民優待日
4/3(土)・4/4(日)、入館料 一般300円 中・小生 200円



● 日本遺産 JAPAN HERITAGE
酒蔵館は、日本遺産「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷の構成文化財です。

入館割引券
本券1枚につき1名
一般入館料を2割引
有効期間 令和3年 3/20(土)～6/6(日)

期間中のイベントにつきましては、HPをご覧ください。
<https://www.hakushika.co.jp/museum/>
主催＝西宮市／公益財団法人白鹿記念酒造博物館 協賛＝西宮観光協会
後援＝西宮市教育委員会、歴史街酒造推進協議会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や内容が変更になる場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

明治の酒蔵 酒ミュージアム
白鹿記念酒造博物館 〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21
TEL (0798)-33-0008(代) FAX (0798)-32-2790
Hakushika Memorial Museum of Sake

令和3年 春季展 笹部さくらコレクション

江戸に桜ひらく

会期：令和3年3月20日(土)～6月6日(日)

前期展示期間：3月20日(土)～4月18日(日)・後期展示期間：4月21日(水)～6月6日(日)

休館日：火曜日 ※4月19日(月)は一部展示入替のため展示室はご観覧頂けません。展示入替の詳細についてはお問い合わせください。

※5月4日(火・祝)は臨時開館いたします。5月6日(木)は休館いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や内容が変更になる場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

笹部 新太郎 (ささべ しんたろう) 明治20年～昭和53年 (1887～1978)

大阪市北区堂島生れ。大阪府立第一中学(現 北野高校)、第七高等学校(鹿児島)、東京帝国大学法科大学政治学科を卒業。大学時代に桜への関心を持ち研究を始める。卒業後は、宝塚市武田尾に桜の演習林「亦楽山荘」や京都市向日町(現京都府向日市)に園場を設け、生涯を通して実地に桜の研究・保護に携わった。昭和26年(1951)大阪市民文化賞を、同42年(1967)西宮市民文化賞を受賞した。大阪造幣局「通り抜け」の桜の管理指導、滋賀県近江舞子の「千本桜」の植樹(現存せず)、岐阜県御母衣ダムの「荘川桜」移植指導など、全国的に桜の保護育成の活動を行った。また、一貫して桜と向き合った生き方をモデルに、作家水上勉が「櫻守」を著した。生前に蒐集したコレクションは、美術工芸品、書画、花譜、名勝の古文献、絵図等から、実際に演習林などで使用していた接木用の切出刀、鋸に至るまで多種多様で、研究書は4,000冊を数え、100冊を超える覚書も残されている。著書に自伝『櫻男行状』がある。

笹部新太郎氏は昭和45年(1970)に執筆した「芸文につながる桜」の中で、東京帝国大学(現東京大学)在学中に「日本人の感情にひびくもの(注:桜のこと)を、衰滅させたくない。江戸時代以上に持って行きたい」という志を抱いたと、桜の保護育成に尽くした生涯の出発点を振り返っています。

笹部氏が理想としていた江戸時代の桜に目を向けてみると、花見の文化が庶民にまで浸透したことや、園芸の流行とともに様々な品種の桜を植えた庭園が営まれていたことが特徴としてあげられます。

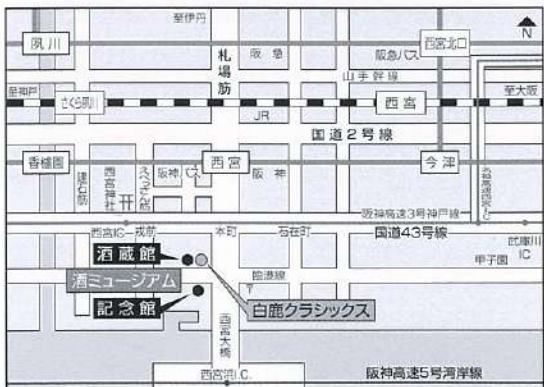
また、学問や文芸の分野で功績を残した本居宣長や上田秋成など、著名人も桜に惹かれ様々な作品を残しました。笹部さくらコレクションに多く収められている、桜ばかりを描いた画派・三熊派が登場したのも江戸時代のことです。

今回の展示では、掛軸や錦絵、和本などから、隆盛を誇った江戸時代の桜をご紹介します。



ざどう はなみ えまき 座頭花見絵巻(部分)/久隅守景(後期展示)

こしゅうぎさんちよう さくらづく 御祝義三調 桜尽し/歌川国盛(後期展示)



交通案内 当館へは阪神電車西宮駅が最寄り駅となります。

- 阪神西宮駅より徒歩の場合、札場筋を南へ15分
- 阪神西宮駅よりバスをご利用の場合、

＜阪神バス時刻表＞ マリナパーク方面行 阪神西宮南口→交通公園前

時間	平日・土曜・休日
10時～15時	2分/14分/26分/38分/50分

＜運賃/大人220円＞
ICカードをご利用いただけます。
交通公園前停留所下車南西へ徒歩1分

- 阪神西宮駅よりタクシーご利用の場合、約5分

明治の酒蔵 酒ミュージアム [公益財団法人 白鹿記念酒造博物館]